

か る が も

68号

発行 北野地区住民協議会広報部 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団
北野市民センター 八王子市北野町545-3 ☎(042) 643-0440
FAX (042) 649-1088



イラスト/見田竜介 (野猿峠自治会)

市民センター祭り開催

副会長/事務局長 田代修

長く続いたコロナ禍が収束し、各地の夏祭りなどが次々と開催される中、「第三十五回北野市民センターふれあい祭り」も令和五年十一月十一日、十二日に開催しました。

前回のふれあい祭りは、マスク着用などの感染予防の対策をしたうえで、芸能大会を二日目だけにするなど規模を縮小しての開催でしたが、今回は、感染症の位置づけが5類に引き下げられたことから、コロナ禍前と同様に作品展、各種イベント、芸能大会を二日間行いました。作品展示会場には、幼稚園、保育園、小中学校、各種サークルなどから絵画、書、手芸品、工作物など二百点を超える作品が展示され、来場者は二日間で四百六十人と昨年より約百人も増えました。来場者の中には親子連れの方が多く見受けられたほか、北野地区以外からの方もいました。

イベント会場では、図書部による古本の無償提供のほか、高齢者あんしん相談センター長沼、自助具工房フレンズ、シルバー人材センター、東南部環境市民会議による活動の紹介、八王子消防署北野出張所による防災グッズの配布などを行っていただきました。芸能大会では一日目の前半はシニア連、後半を一般の部として、十三組、百二十六名の出演者がカラオケ、ダンス、演奏、コーラスなどを披露し、大いに盛り上がりました。

またシニア連が呼び出した中国雑技「変面ショー」では、一瞬のうちに変わる仮面に会場内は驚きの声と大きな拍手に包まれていました。

二日目は、町会、自治会、市民センター利用団体などから二十組、百四十名の出演があり、日頃の練習の成果を発揮した演目で、会場内は手拍子や掛け声などが響きわたり、大いに盛り上がりました。

ふれあい祭りは、各地区の町会、自治会、利用者団体等が交流する場となつていきますので、これからも継続していくことで、北野地区のコミュニティ

の活性化だけでなく、地区内の町会、自治会をはじめとした多くの皆様が互いに協力して行うことで、より広範囲な地域の防災力強化にもつながるものであると思います。

最後になりましたが、元日から能登半島地震により甚大な被害が生じました。

被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。



【田代平二会長の開会挨拶】

市民センター祭り

作品展示コーナー開催報告

文化部長 高山 紀男

前文化部長の屋形裕之氏にいろいろご教示をいただくと共に北野地区住民協議会副会長 兼 事務局長 田代修氏、文化部役員の方々のお力添えで展示コーナーを開催することが出来ました。

事前打ち合わせは以下の通り。

- ① 第一回の会議を令和五年八月十日(木)十八時より八階小会議室で実施。
- ② 第二回の会議を令和五年十月十七日(火)十八時より八階小会議室で実施。

作品の受付、作品の破損、紛失、盗難の防止、展示コーナーの設営、撤退等を重点的に討論。

作品の募集は、町会、自治会、保育園、小中学校のご尽力により取りまとめていただきました。

作品の応募者資料は、北野市民センター事務局に保管を依頼しました。

また、令和五年十月二十四日(火)十八時より八階小会議室に於いて出展

者会議を開催し、作品の搬入、搬出、展示コーナーの飾り付け(壁面に掲出)、テーブルに陳列、作品(ネームプレート)出展者が記入する)等の説明及び質疑応答をしました。

作品は、書道、絵画、写真、手工芸品どれも素晴らしい出来栄でした。なお、作品は、個人の方が八名、他に九団体で、作品二百六点、観覧者数は、十一月十一日(土)二百二十五名、十一月十二日(日)二百三十六名、総数四百六十一名です。

文化部の一年間の催しを無事に終了できたのも、地域の皆さまのご協力の賜物と感謝しております。



たくさんの方々の素晴らしい舞台の様子



保健体育部活動報告

部長 安齊純一

第十五回「さわやか歩こう会」を実施しました。

日時 令和五年十一月二十六日(日)
参加者 二十九名

今回は、集合場所の北野タウンビル前から湯殿川沿いを上流へ打越町、片倉町、小比企町を経て、京王山田駅までの約四キロの比較的平坦なコースです。

当日は曇天の十一月としては肌寒い日で集合場所に来てくれるか心配でしたが、参加者は約三十名、まずはひと安心です。出発前に田代会長から開催の挨拶、午前九時半に出発しました。

北野駅から湯殿川の左岸を上り打越町から片倉町に入ると兵衛川との合流地点、そこは昔ボート乗り場がありました。



戦後間もなくはその姿を留めていたそうです。私が幼いころ叔父に乗せてもらった遠い記憶があります。

片倉城址で休憩と集合写真の撮影です。

湯殿川をさらに上ると小比企町の由井第三小学校に隣接する小比企稲荷神社があり、境内掲示によると神社完成祝いに行った相撲大会は明治初期まで続いたそうです。由緒ある神社のよう



神社から湯殿川を後にして、八王子の牧場としてテレビにも紹介される磯沼ミルクファームに向かいます。新鮮なミルクやヨーグルトは美味しそう。

しばし牛や羊とともに磯沼ミルクファームからの紅葉を眺めながら休憩し、そしてゴールの京王山田駅に到着です。

今回も参加された皆様の協力により無事に終えることができました。ありがとうございました。

【編集後記】

コロナ自粛中は練習も制限され、発表の場が限られていた中、待ってましたとばかりに市民センター祭りにてはつらつとした練習成果を披露されている姿に、私たちの地元が活気づく様子が垣間見れて私も元気になりました。

また、歩こう会は下見歩きの時は暖かく大変晴れて、素敵に映えていました富士山が見られなく残念でしたが、この原稿をいただいて、湯殿川にボート乗り場があったことにほっこりしました。

町会、自治会の活動は生活を豊かにする要素があるのだなあと実感しています。

その一部を当広報誌で少しでも感じていただけたら幸いです。

(広報部長 小俣信次)



【市民センター祭り 古本市】